The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 26 | Issue 1 | September 2022

今号では・・・

▶02...IB Diploma 試験結果—2022年7月
▶03...ようこそ、新しいスタッフの皆さん
▶04...理事長よりご挨拶
▶05...新しいスクールバス
▶05...新校舎建設Update!
▶08...J
▶10...KIPSニュース
▶11...KISTローワーセカンダリープログラム
▶12...大学支援奨学金
▶13...セカンダリー生徒ケア
▶15...LMCニュース
▶20...卒業生大学合格実績

「成功への近道はない。一歩一歩行くのみである。」
—Author unknown

学校長より

おかえりなさい！

2022–23年度へようこそ! また新たなスタートを切ることができ、ケイ・インターナショナルスクール東京のコミュニティにとってチャンスと興奮に満ちた一年になることを楽しみにしています！私たちの多くが、この3年間が波乱万丈で予測不可能な時期であったことに同意すると思いますが、私たちはコミュニティの皆で協力し、耐えてきたと信じています。この困難な時期を乗り越え、全校生徒が学び、成長し続けています。今後もパンデミックに関連する課題に直面するかもしれませんが、私たちは学校コミュニティの強さと前向きさ、そして柔軟性と決断力があれば、ほとんどの障害を克服できることを証明しました。

2021–22年度の終わりには、3年ぶりに実際に観客を迎えて学年末コンサートを開催することができましたし、今年はようやくエレメンタリーのご家族をキャンパスにお迎えして、ペアレンツ ウェルカム ナイトを開催することができました。今後はリーディングバディ(エレメンタリー)、遠足、キャンプ、様々なお祝いイベントなど、できるだけ多くの学校行事やアクティビティを再開することを目標としています。

パンデミックによる規制が緩和されたことで、様々な行事を再開することができるようになりましたが、もう一つの(良い意味での)制限に縛られることになりました。その制限とは、待ちに待ったキャンパス拡張プロジェクトです。夏休みの間に体育館の解体が終わり、新しい施設の建設が始まりました。体育館とグラウンドがないため、体育の授業でできることは限られてきますが、体育科のメンバーは既成概念にとらわれず、多くの創造的で革新的な解決策を生み出しています。

新しい施設は2023年の秋に完成予定です。KISTにこの記念碑的な施設が加わることを楽しみにしています。それまでの間、生徒の社会的身体成長と学力の向上を確かなものにするために、これからも力を合わせていきましょう。

よろしくお願いします。

Kevin Yoshihara Ed.D.
Head of School/Elementary School Principal

1997–2022 *Celebrating 25 years* 1997–2022 *Celebrating 25 years*

重 要 な 日 程

2022年9月
19 School holiday
20 (G6-G8) English diagnostic testing
23 Staff development day (No school for students)
27-28 School photographs
27 PYP information session (Online)
29 (G5) Day camp

2022年10月
1 SAT@KIST
3-7 (G2-G5) Writing diagnostic testing
3-21 (G1-G5) Reading diagnostic testing
10 School day
12 (G10) PSAT tests
21 Last day of quarter 1
22 Explanation Day (for prospective parents)
22 2023–24 admissions applications open
22-30 Autumn vacation
31 School resumes for all students

2022年11月
3 School day
11 Quarter 1 reports issued
14 (G5) Math/Japanese progression criteria session (*Tentative)
23 School day
23 (S) Q1 Parent/Teacher/Student interviews (*Afternoon)

WE ARE A CIS ACCREDITED SCHOOL

IB Diploma 試験結果 – 2022年7月

今年2022年5月のIB DP試験は、世界3,090校から173,000人を超える生徒が受験し、記録的な数字となりました。IBはパンデミックによる学習の混乱を考慮した適応策を継続し、一部では筆記試験なしで成績を授与する臨時措置がとられました。2022年5月の試験の世界平均は32.0点で、2021年の33.0点から低下しました。

世界平均が2021年から1ポイント下がったにもかかわらず、KISTはディプロマ平均スコアが42.1点という格段に素晴らしい成績を収めました。驚くべきことに6人（18%）の生徒が45点の満点を獲得し、世界の上位0.74%に入りました。今回の試験で満点を取った生徒は世界で651人なので、そのうちの約1%がKISTの生徒ということになります！

Year	KIST DP average	DP world average	Highest KIST score	# of students with a perfect score (45)	% of students with a perfect score (45)	% of students with a 44 or above	% of students with a 40 or above	KIST G12 Diploma graduates
2022	42.1	32.0	45	6	18%	39%	85%	33
2021	42.3	33.0	45	4	10%	27%	90%	41
2020	39.8	31.4	45	1	2%	7%	61%	41
2019	39.2	29.7	45	1	3%	14%	43%	35
2018	37.8	29.8	44	0	0%	3%	47%	34

過去5回の試験のディプロマ結果の概要は上記の通りです。

特筆すべき2022年度卒業生：

- 世界平均が78%であるのに対し、35人中33人（94%）がフルディプロマを履修しました。
- 世界平均が86%であるので対し、KISTではフルディプロマ履修者33人中33人（100%）がIBディプロマを取得しています。
- IBディプロマを取得したKISTの生徒の平均点は42.1点で、IBディプロマ世界平均の32.0点を10点以上上回りました。
- 6 人（18%）の生徒が45点の満点を取りましたが、これは世界で0.74%しか達成できていません。
- 13人（39%）が44点以上を獲得しましたが、これは世界全体の2%に相当します。
- 27人（85%）の生徒が40点以上を獲得しましたが、これは世界全体の14%に相当します。
- 20人（61%）の生徒が42点以上を獲得し、KIST "Learning for Life" 大学サポート奨学金を受けとりました。

Group	Course	# enrolled	Actual Grade Average	World Average	Difference between AG and WA
1	English A L&L HL	19	6.16	5.02	1.14
	English A L&L SL	14	6.24	5.26	0.98
	Japanese A L&L HL	5	6.00	5.56	0.44
	Japanese A L&L SL	1	6.00	4.93	1.07
2	Japanese B HL	14	7.00	6.17	0.83
	Japanese B SL	11	6.82	5.24	1.58
	Japanese AB SL	2	7.00	5.21	1.79
	Spanish AB SL*	1	6.00	5.05	0.95
3	Business Management HL	4	7.00	5.24	1.76
	Business Management SL	2	6.50	5.10	1.40
	Economics HL	4	6.75	5.39	1.36
	Economics SL	8	7.00	5.01	1.99
	Geography HL	3	6.33	5.50	0.83
	Geography SL	12	6.42	5.05	1.37
	History HL	4	6.75	4.53	2.22
	History SL	1	6.00	4.76	1.24
	Psychology SL*	3	5.67	4.79	0.88
4	Biology HL	11	6.73	4.73	2.00
	Biology SL	3	6.00	4.56	1.44
	Chemistry HL	17	7.00	4.98	2.02
	Chemistry SL	1	7.00	4.54	2.46
	ESS SL	5	6.00	4.46	1.54
	Physics HL	12	6.83	5.09	1.74
	Physics SL	2	6.00	4.64	1.36
5	Math A&A HL	11	7.00	5.21	1.79
	Math A&A SL	15	7.00	4.99	2.01
	Math A&I SL	7	6.86	4.39	2.47
6	Visual Art HL	4	6.00	4.44	1.56
	Visual Art SL	2	5.50	4.11	1.39

*Pamoja Educationで履修・学習された教科

左の表は、KISTのコース平均（IBディプロマを取得した生徒を対象に算出）とIB世界平均の各コースでの比較を示しています。

- KISTで開講されているコースの100%がIB世界平均を上回る結果を出しています。
- KISTで開講されているコースの96%（緑と青の部分）は、IB世界平均より0.5ポイント以上高い結果を出しています。
- KISTで開講されているコースの86%（青い部分）は、IB世界平均より1ポイント以上高い結果を出しています。

IBディプロマの成績と統計の詳細については、以下のリンクから「Statistical Bulletin」をご覧ください。

Web https://www.ibo.org/about-the-ib/facts-and-figures/statistical-bulletins/diploma-programme-statistical-bulletin/

2022年度卒業生の皆さん、IBディプロマのすばらしい結果の達成おめでとうございます！そして、大学生活でのさらなる成功をお祈りします。

Hiro Komaki
DP Coordinator

ようこそ、新しいスタッフの皆さん

2021ー22年度の新スタッフをご紹介します。KISTに新しく加わった仲間をどうぞ歓迎してください！

教員

Karen Donald-Godfrey
Secondary English

Chloe Kniveton
Elementary
Grade 5A

Hanad Mahamed
Secondary
Science

Anna Sophia Valencia
KIPS P2

教育サポートスタッフ

Maslin Costiniano
Learning Support
Instructor (K1B)

Brogan Dietrich
Learning Support
Instructor (K1A)

David Herbertt
Learning Support
Instructor (K3A)

Peter-Ann Higgins
Learning Support
Instructor (G2B)

Chrisdelle-Janine Kawamoto
Learning Support
Instructor (G2A)

Leah McMacken
Learning Support
Instructor (K3B)

Muskan Manwani
Teacher-Trainee
(Elementary G4B)

Charles Owen
Learning Support
Instructor (G5A)

Mark Albert (Zac) San Juan
Learning Support
Instructor (G1A)

Ayane Tomita
Learning Support
Instructor (G1B)

オフィススタッフ

Riri Kinoshita
Administrative Assistant
(Elementary Office/Main Office)

理事長よりご挨拶

本年8月、KISTは創立25周年を迎えました。順風満帆とはいかない時もありましたが、どんな時でも、多くの方に支えられ、助けられてきました事を心より感謝申し上げます。

そして、26年目となります2022–23学校年度がいよいよ始まりました。新校舎建設が開始されたことで、運動場が手狭となりましたが、2023年10月末にはフルサイズバスケットコートが入る体育館を備える新校舎が完成する予定ですので、それを楽しみにこの1年間は工夫してスポーツなどを行っていきたいと思います。

さて、理事会からの報告です。

KISTのミッションの中核は、「学習意欲のある子どもたちに質の高い教育を提供し国際社会に有意義な貢献する学力的にも人格的にも優れた有能な若者を育成すること」です。そして、ビジョンにおいて、「全ての学習者が学問において優秀さを示す」ことを求めています。

KISTでは、学校のミッションとビジョンの達成を目指して、3つの教育目標を定めています。

1. 全ての生徒が、DPで求められる「国際社会で貢献し成功するために必要な知識やスキル」を高いレベルで身に付ける。
2. KIST卒業後も質の高い教育を受けられるよう、希望する全ての生徒に一流大学進学への門戸を開く。
3. 大学進学に際し、経済的に支援が必要な生徒が、成績優秀者に送られる給付型奨学金を受けられるようにサポートする。

以下に各教育目標別による達成度のご報告をさせて頂きます。

1. 2022年度KISTのDPのアベレージは42.1点でした。世界平均が32点でしたので、世界アベレージとの差が10.1点（昨年度は9.3点）と、今までで一番大きく開きました。
2. 今年はイギリスのケンブリッジ大学を始め、世界の一流大学に多くの合格者を輩出しました。
3. 成績優秀者などに送られる給付型奨学金ですが、今年は昨年の2倍以上となる総額3億5千万円を超えるオファーを大学などから頂きました。

2022年度卒業生の皆様、おめでとうございます。そして、彼らを成功に導いてくださった先生方の貢献と保護者の皆さまのサポートに感謝致します。

さて、教育改革の一環としてKISTが2019年8月に導入致しましたIGCSEのオフィシャルテストの結果ですが、79%が9点か8点(9点満点)でした。初めての全教科によるIGCSEのオフィシャルテストでしたが、素晴らしい結果となりましたことをご報告させて頂きます。ちなみに、IBのDP校において世界第2位のイギリスの学校は、89%が9点か8点、第11位のイギリスの学校は76%が9点か8点でした。

そして、更なる教育改革を行うために、今年からLower Secondaryカリキュラムの提供が始まっています。このカリキュラムは、DPとIGCSEにおいて高い結果を出している経験豊富な各サブジェクトの先生方が中心となり、IGCSEとDP両方の準備となるカリキュラムを作成しています。

最後になりますが、理事会の重要な役割の一つは、学校が行っている教育改革の効果を検証し、更に改革を進める事です。前学年度に続き、今学年度も同じメンバーで、しっかりと理事会の役割を果たしてまいりますので、引き続きご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

決算についてのご報告

2021年4月～2022年3月期決算が弊校監査役2名による監査を経て、理事会の承認と評議委員会への報告が完了しました（私立学校法により決算期間の変更はできないため、決算期間は4月から3月末となり、実際の学校年度とは異なります）。決算報告書等の閲覧を希望される方は、担当の小松/前田までご連絡のうえ閲覧予約をお取りください。なお、法律に従いまして閲覧対象者は在校生とその保護者、学校スタッフとなります。

Takako Komaki
Board President/Associate Head of School

新しいスクールバス

色・形ともほとんど変わっていないので、スクールバスが新しくなったことに気が付かれていない利用者もいらっしゃるのではないでしょうか？

KISTには現在2台の中型バス、1台のマイクロバス、計3台のスクールバスがありますが、今回新学年度に合わせて、2台の中型バスを21年ぶりに新しくしました。

スクールバスは、日々の登下校だけでなく、エレメンタリースクールのクラス遠足や、スポーツチームの放課後の練習場所や対抗試合への送迎等、様々なエリア、様々な目的に使用されます。

永く大切に使用していくため、利用する生徒の皆さんへのマナーある利用への協力をお願いします。そしてこれからも安全運行に努めます。

新校舎建設Update!

体育館の解体工事、その後の地盤改良工事(江東区の小学校だった頃にあった施設の地下杭を抜くなど)等の準備工事が全て終わり、いよいよ新校舎建設工事が始まりましたことを皆さまにご報告いたします。

最短工期で、かつ完成時の引越しのタイミングとして、2023年10月末での完成を最優先させるため、当初計画していた工事方法を変更せざるを得なく、そのため予定より更に校庭を建設作業スペースに開放する必要が生じました。Parent Welcome Night等でご覧になられた皆さまもいらっしゃるかと思いますが、その結果、校庭スペースは非常に限られたものとなりました。

PEや休憩時間に制限が生じ、生徒やスタッフにはストレスのかかることとなったことを大変申し訳なく思っています。しかし、最短工期での新校舎建設にはどうしても必要不可欠なこととなりますので、PE部門をはじめ、全スタッフの協力と理解、学校側としての工夫で、来年10月まで乗り切りますので、保護者の皆さまにおかれましても、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

今回この問題を解決するため、屋上スペースの整備(スポーツコートを敷く)や、PE授業スケジュールが重なっている場合等、どうしても場所の確保が難しい時には、セカンダリースクールのPEは外の体育館やグランド等を借りるなど、授業に支障が出ないように配慮して対策を行ってまいります。

施工会社は、千葉県に本社のある『新日本建設株式会社』さんとなりました。通常の授業や学校運営を行いながらの、同敷地内での建設ということで、騒音対策、安全対策に十二分に配慮した施工に留意していただくことをお願いしています。工事区域を囲うフェンスの死角となるコーナーは、生徒同士の衝突などによる怪我を防ぐため、また、生徒に工事の状況を見てもらいたいということで、要所が透明なフェンスとなっています。実際に生徒が興味深げに覗き込んでいる姿を見かけると、新校舎建設計画が開始できたことを大変嬉しく思います。どんどん様子が変わっていくのがますます楽しみになりました。

地鎮祭の様子

9月1日現在の様子

今回の工事に伴いスタッフ駐輪場確保のため、Kindergarten Playground裏側の植え込みスペースを利用しています。その出入口ゲート設置に関して、G9、G2のOkada Familyからご協賛をいただきましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

完成が待ち遠しい新校舎建設です！

PYPニュース

GL assessment

今回の*The Comet*では、Grade 1～5で採用する新しい評価試験について紹介いたします。

昨年度はこれまでやっていた紙媒体での年度末試験を、英国で提供しているオンライン試験に変更しました。GL Educationが開発した英語（PTE）と算数（PTM）の進度テストは、カリキュラムの変更を反映して定期的に更新され、英国内35,000名の生徒の成績と比較して標準化されるため、KISTの生徒のレベルを正確に図ることができます。

PT SERIES

この新しい進度テストシリーズの素晴らしい特徴のひとつは、より詳しく包括的なデータを教員に提供してくれることです。これにより保護者も、より迅速に分かりやすい形式で結果を受け取ることができるようになります。

これらのテストは、生徒にとってやりがいのあるもので、また教員にとっても管理しやすいものであったため、GL試験の範囲を本年度は広げることに決めました。

NGRT

更にこれまで長年行っていたFountas & Pinnellのリーディング試験を、*New Group Reading Test*に変更します。このテストは10月と1月の年2回実施され、教師が生徒を適切なリーディンググループに割当てることを目的としています。この試験はコンピューターを利用する適応型テストで、最初は全員が同じ問題から始めますが、生徒の習熟度に応じて、より簡単、あるいは難しいリーディング課題が順に出題されます。各生徒に20分から30分かかっていたFountas & Pinnellの試験とは違い、NGRTの試験では、クラス全員が同時に30分で完了するため、節約した時間をより有効に授業に活用することができるようになります。

PASS®

GLシリーズで採用するもう1つのものは試験ではありません。*Pupil Attitudes to Self and School* アンケートは、従来G1～G5で行っていた生徒アンケートの代わりとなるものです。20分間のオンラインアンケートでは、生徒の社会的および精神的な安定性を慎重に調査することで、なぜ生徒にやる気がなかったり、集中できなかったり、授業を乱してしまうのかといったことを知ることができます。また、教師に対して対策やガイダンスも提供されるため、教員は問題解決に向けてすぐに取り組むことができるようになります。

これらの新しい試験やアンケートは、生徒と教員にとって前向きな影響を与えるものになると確信しています。エレメンタリーの試験に関して質問のある方は、こちらまでメールしてください。

Oliver Sullivan
PYP Coordinator
oliver.sullivan@kist.ed.jp

季節の移り変わり

今年もこの季節がやってきました。暑さが増し、湿度とともに新しい年への期待も高まっています。今年はKISTのクラスと生徒にとってユニークな挑戦となります。新しいセカンダリービルの建設が順調に進んでおり、スペースが限られ、スケジュールもタイトになっています。

再利用された空きスペースの中にセカンダリービルの屋上が含まれています。このエリアには多くの可能性があり、体育部門は通常の休み時間の活動以外にも使えるようなスペースを作るために努力してきました。今後さらに皆さんの「ルーフトップ」体験を盛り上げるようなサプライズを用意していますので、ご期待ください。

この記事が掲載される頃には既にクラブ活動が始まっていることでしょう。先生方は昔からの定番で人気なクラブに加え、新たに面白いクラブの様々なアイディアを出しています。特に楽しそうなのがKISTvとヨガのクラブです。学校でのタフな一日を終えるのに素晴らしい方法なので、入りたいクラブにうまく参加できることを願っています。残念ながら、通常行っているフィールドスポーツはきちんとしたフィールドができるまで行えません。

最後に特筆すべき変更点は昼食の時間帯です。エレメンタリーではすべての授業をカバーするためにスケジュールを少し調整する必要があり、昼食の時間が1時間遅くなりました。そのため、昼食までの時間を乗り越えるためにスナックを持参するよう生徒にリマインドしています。

以上、2022–23年度が皆様にとって良い年となりますよう願っております。

「よく学び、よく遊び、そしてバランスを保しましょう！」

Clay M. Bradley
Elementary School Vice Principal/
Student Care Coordinator (Elementary)

幼児教育ニュース

KIST Familyの皆さん、

2022年度、新しい一年が始まりますね、進級された皆さん、お帰りなさい、そして、初めてKISTへ入学された方、おめでとうございます。

皆さん、夏休みはいかがお過ごしでしたか？コロナの影響でなかなか会えなかったご家族の皆さんに会えた方も、今年は多かったのではないでしょうか？

2022年度はコロナが落ち着くことを切に願います。KISTの小学部では、この3年間できなかったBuddy Reading Time、休み時間などのAクラスBクラスの交流や、複数学年でのクラブ活動などが今年度から復活します。

幼稚園の子ども達にとって、おおきなお兄さん、お姉さんと過ごすことができるBuddy Reading Timeは大人気です。今年度もどんな活動を一緒にすることがきるかわくわくします。

さて、今回はECEの職員を紹介したいと思います。昨年度は、二人の職員が産休に入ったり、二人の職員が小学校の学年の担任となったり、海外に勉強へいったりと数名の職員の入れ替わりがありました。今年度は、二人の職員が無事に産休から復帰し、新しい職員を4名迎えました。

K1クラスからK3クラスまで各3名ずつ、クラス担任と二人の学習支援スタッフ、総勢18名です。その他にも子ども達は単科の先生たちともかかわります。

この18名（K1Bクラスの学習支援スタッフはただいま到着待ちの為、他の職員が常時サポートに入っています。なので17名で計算いたします。）の指導経験ですが、平均指導年数は10.8年になります。最も長く指導にあったっている教員は30年以上の指導経験があり、短い職員も3年の指導経験があります。

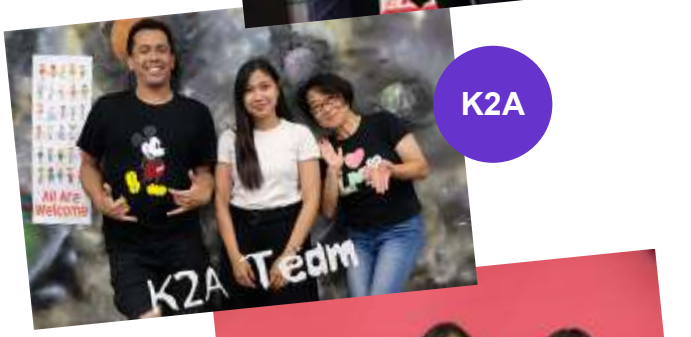
出身地域は12か所、国籍で数えると11カ国、第一言語も英語のみならず、その他にも10言語を自分の第一言語としているスタッフ達です。

その中の実に半数以上が子どもを持っている保護者であります。

それぞれが多様な趣味を持ち、自分たちの経験を、各クラスで子ども達の指導のために生かされております。

まだまだ先の見えない毎日ではありますが、皆様方のご協力のもと、今年度も子ども達が楽しく学んでいけるよう、職員一同励んでいきたいと思いますので、変わらぬサポートを、どうぞよろしくお願いいたします。

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1–K3)/
K2A Teacher



K1 持続可能な目標

サマープログラムでは、「持続可能な目標（SDGs）」に焦点をあてました。昨年のK1（現在のK2）は、第12目標（つくる責任・つかう責任）と第15目標（陸の豊かさも守ろう）に焦点をあてました。第12目標では、「リデュース、リユース、リサイクル」について学びました。生ゴミ、自然のもの（葉っぱ、小枝、木の皮）、コーヒーの粉、お茶の葉、使用済みの段ボールなどを使ってコンポストを作るなど、様々なプロジェクトを行いました。子どもたちはコンポスト作りを楽しみ、そのおかげで、おやつを食べた後のバナナの皮はコンポストに入れることを意識するようになりました。

教室で使用した紙くずをリサイクルしました。子どもたちは、紙を細かく裂き、パルプになるまで水と混ぜました。パルプを平らにして乾燥させ、紙を作りました。子どもたちは、自分たちが作った紙を使って、保護者の方へのメッセージを書きました！

また、ペットボトルを再利用して種を植えました。子どもたちは日記帳に種の変化を絵で記録しました。

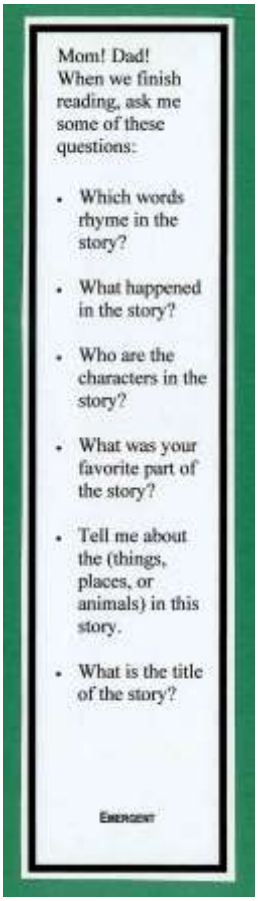
15番目の目標として、動物や植物の大切さを学びました。絶滅の危機に瀕している動物がいるのはなぜか、その理由を調べ、また、「ネイチャー・スカベンジャー・ハント」を行いました。

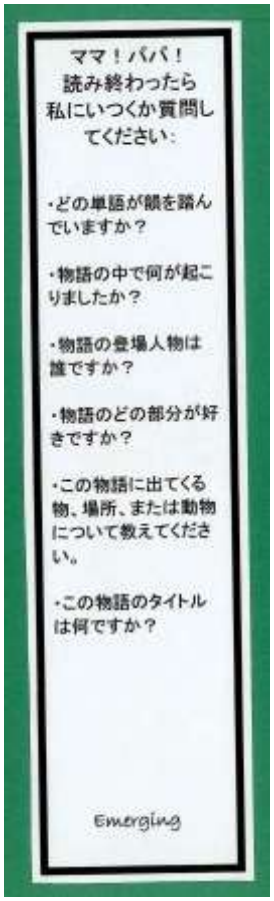
更にはミツバチが気候変動と森林伐採のために絶滅の危機にさらされていることを学び、ミツバチの重要性、花の花粉、ミツバチがどのようにハチミツを作るのかも学びました。ドラマチックロールプレイでは、子どもたちはミツバチの巣箱の検査官になったつもりで楽しみました。また、ハチミツの売り手と買い手にもなりました！

Claire Yoneyama
K1A Teacher

エレメンタリーELS

お子様と一緒に読書を—この資料がお役に立ちます！





2022–23年度を始めるにあたり、ご家庭でお子様の言語と読み書きの学習をサポートするのに役立つ資料をご紹介します。一緒に読んだ本についてお子さまに質問することは、読解力と言語学習を向上させる最も効果的な方法の一つです。しかし、本を共有しながらどんな質問をすればいいのかわからないこともあります。そこで、その部分を簡単にするために、識字専門家のBonnie Campbell Hillが素晴らしい質問を印刷したしおりを開発し、多言語で提供することにしました。

このリソースを上手に使うには、母国語で子供と一緒に読むことが優れた識字支援になることを心に留めておいてください。Bonnie Campbell Hillは、他の識字教育やバイリンガル教育の専門家たちと同様に、次のように強調しています。「母国語で話すことで、子どもの英語学習が難しくなることはありません。さらに、母国語のサポートを受けていない学習者が新しい言語でアカデミックな能力を発揮するには、7年から10年かかることもあります。」母国語リテラシーの発達は、英語リテラシーを支えるのです。

ブックマークは、中国語、オランダ語、英語、イタリア語、日本語、韓国語、ポーランド語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語で用意されています。どの言語を希望されるか、メールでお知らせください。デジタル版をメールでお送りすることもできますし、印刷してお子さまにお渡しすることもできます。ご希望の言語がない場合でも、メールでご連絡いただければ対応させていただきます。

ご家庭でのお子様の言語と読み書きの発達のサポートについての詳細は、Bonnie Campbell Hillの記事「EAL Family Support」（お子様のクラスのSchoologyページ、または印刷したコピーをご希望の場合は私にメールしてください）をご覧ください。また、昨年の*The Comet*の記事「Deepening skills during shared reading at home」の8ページ目も以下のリンクからご覧ください。

Web https://www.kist.ed.jp/files/pdf/TheComet/The%20Comet_2021.12_E.pdf

Web https://www.kist.ed.jp/files/pdf/TheComet/The%20Comet_2021.12_J.pdf

今年も楽しく学ぶためのサポートを楽しみにしています！

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator
rachel.parkinson@kist.ed.jp

KIPSニュース

2016年10月に内閣府指導の元、企業主導型保育事業として立ち上げたKIPSですが、今年で6年目をむかえます。立ち上げ後、5年ぶりに再配属が決まり、オープニングを共にした仲間と新しく仲間入りしたスタッフ、そして既存のFamilyと新しく園に入ったFamilyとで園生活をよりよくして行きたいと思います。

消毒、手洗いはもちろんの事、看護師による子ども達への視診、午睡チェック、子どもたちの毎月の体重身長測定、年2回の健康診断、歯科検診、毎月の防災訓練、日々の施設の除菌やチェック、常時換気、スタッフの研修、そして出来る限り無添加のランチやスナックを提供しています。

年齢に合わせた英語による学習や保育を様々な形で導入し、安全な環境のもと、子どもの発達と発育をサポートし、楽しく学んで成長していけるKIPSを目指します。COVID-19の状況下で多くの事に制限がある中、出来る限り色々な体験をしてほしい事からKIPS Familyにご協力いただく事も多いですが、コミュニケーションをしっかりとりながら、子どもたちがすくすく成長する姿を共に楽しみましょう。

6年前の立ち上げ時の園児たちの保護者よりうれしいお言葉を頂きました。休日の土曜日に子どもがバッグパックを背負い「ぼくKIPSに行ってくるね」とそれくらいKIPSが大好きみたいです。

そんなふうに子どもたちにとってKIPSが大好きな場所になってくれると嬉しいです。

Yukiko Murai Jones
KIPS Office Coordinator

KIPSの新しいご家族の皆様、KIPSへようこそ！

今年は、P0–P1クラスに5人、P2クラスに11人の子共たちを迎えました。ほとんどの子どもたちがKIPSに来るのが初めてなので、最初の1週間は涙を流すこともありましたが、継続して在籍している子共たちが新しいお友達におもちゃを差し出したり、慰めてあげたりと、とても優しく接していたのを嬉しく感じました。

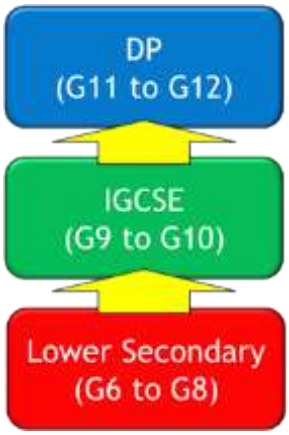
新学期の始まりは、子どもたちがKIPSの環境に慣れることが大きな目的のひとつになります。子どもたちが重要なポイントを覚え、最終的に新しい習慣に適応できるよう、英語と視覚的な合図を使いながら、できる限り一貫したルーティンを作るよう心がけています。例えば、遊びの後の片付け、手洗い、食事の前の歌、レッスン中の座り込み、外遊びの時のロープの持ち方など、子どもたちが日常的に行っていることがあります。

新学期は多くの新しいチャレンジがありますが、同時に新しいことを学び、楽しむ時でもあります。保護者の方々と協力しながら、この大切な時期に子どもたちを導き、保育できることを楽しみにしています。

Ma. Cielito Bautista
P0–P1 Teacher

KISTローワーセカンダリープログラム（LSP）

はじめに



皆さん、こんにちは！Lower Secondary Programme（LSP）コーディネーターの小牧圭です。ご存知の通り、KISTでは本年度より6年生から8年生の教育プログラムをMYPからLSPに切り替えました。今回の*The Comet*では、私が今までLSPコーディネーターとして一番多く聞かれた、「なぜKISTはIBの提供する公式プログラムであるMYPからLSPに切り替えたのですか？」という質問にお答えしたいと思います。

この質問にお答えするにあたって、まずはLSPの目的について説明したいと思います。

LSPの目的

LSPの主な目的は、生徒をIGCSEとIB Diploma Programme（DP）での成功に向けて準備をすることです。

IGCSEとDPにおいて成功を収めるには、知識と探求スキルの両方が必要不可欠です。たとえば、DPの数学において行われるアセスメントでは、他の多くの数学コースのように最終試験で数学の知識が試されますが、それに加えて、数学の論文も提出します。この論文では、生徒自らが身の回りの問題や疑問をテーマとして探求し、数学で解決することが求められているのです。また、社会科学系（歴史学、経済学、経営学、地理学）では、IGCSEにおいてもDPにおいても、実際に起きた出来事について、培った知識を用いて探求し、ケーススタディを行います。他にも沢山例を挙げることが出来ますが、それには文字数が足りないのでここまでにしておきます。

つまり、生徒はG8の終わりまでに十分な知識と探求スキルを身につけることが期待されており、LSPはそれを最大限にサポートすべく導入されました。

LSPの構成

前述したとおり、生徒がDPとIGCSEで成功するには、知識と探求スキルの両方が必要不可欠です。

まず、生徒がG8までに十分な知識を獲得できるよう、LSP科目では縦の繋がりを意識したシラバスを組んでいますが、中でも英語、自然科学、数学、情報学の4つの科目では、Edexcel IGCSEの前段階のコースとしてPearson社が公式に提供しているPearson Edexcel iLowerSecondaryのシラバスを基本としています。これらのコースでは、G8の学年度末において公式試験が行われるので、生徒は獲得した知識とスキルの客観的指標を得られるだけでなく、IGCSEとDPに先駆けて、公式試験を体験することが出来るのです。

LSPでは、知識のほかに、IGCSEとDPで必要な探求スキルを身に付けられるよう、MYPの要素も織り交ぜてコースを形成してます。例えば、MYPの言語科目で行われていた課題図書のテーマ探求などは、LSPにおいても引き続き行われます。よって、LSPはDPやIGCSEで求められる知識的要素とMYPの探求の要素を組み合わせたハイブリッドプログラムとなっています。

LSPではどんなことが行われているのか？

それでは、実際にLSPではどんなことが行われているのか、また、MYPとはどんな違いがあるのか。科目別に見てみましょう。

科目	DP & IGCSE	LSP
言語（英語、日本語）	試験において時間制限内での論文作成が求められる	アセスメントのすべてが、MYPにはなかった時間制限付きの文章作成
個人と社会（I&S）	地理学、歴史学、経営学、経済学の四科目から科目を選択	G8までに四科目すべての導入部分を学習する
数学	評価の80%が知識と理解	MYPにおいて25%しか評価しなかった知識と理解を80%に引き上げ
自然科学	試験のほかに、実験の構想、実施、レポート執筆が求められる	iLowerSecondary試験に向けた勉強に加えて、" 実験スキル"もトレーニングする

これらは一部の例に過ぎませんが、LSPの科目には、MYPにはなかった、IGCSEとDPに向けた準備を重点的に行うための取り組みが、数多く施されています。

しかし、なぜKISTはIGCSEとDPに向けた準備に拘るのでしょうか？それには、昨今の大学受験の事情が関連しています。

次のページに続く

前ページの続き

昨今の大学受験

多くの人が、共通して「DP（G11–12）でいい成績をおさめれば、世界中どこでも希望している大学に合格できる」と誤解しています。とくにアメリカの大学では、出願時にG9からの成績の提出が求められ、Ivy LeagueやMITなどの一流大学には、G11からG12までででどんなに優秀な成績を収めていたとしても、G9から常に優秀な成績を収めていなければ合格出来ません。アメリカのみならず、イギリスのCambridgeやOxford、日本の東大や早慶上智なども、G10からの成績提出を求めています。

ということは、世界中の一流大学への門戸を開くには、G8までに十分な準備を行い、G9から学業において成功を収める必要があるのです。

LSPでは、G6-G8の生徒を最大限サポートし、G9からの学習に向けて十分な準備を行うことによって、生徒の将来の選択肢の数を最大化することを目的として導入されたのです。

おわりに

如何でしたでしょうか？LSPについて、まだまだ質問のある方は、私、小牧圭までご連絡ください。

Kei Komaki
LSP Coordinator
kei.komaki@kist.ed.jp

運動部最新情報

2022年秋

KISTの生徒とご家族の皆様、お帰りなさい！秋シーズンは通常のプログラムに戻り、参加者も驚くほど多くなっています。

学年末（2022年春）に行われたISTAA U-18フットサルトーナメントについて簡単にお知らせします。女子チーム、男子チームともに、それぞれ4チーム、5チーム中、2位という好成績を収めました。残念ながら、KISTチームはBSTを破りチャンピオンになることはできませんでした。

現在、秋のチームは以下の大会に向け、トレーニングに励んでいます。

- クロスカントリー：MSとHSの全チーム。今年は過去最多の50名のランナーがおり、多くの素晴らしいコーチがチームをサポー トしています。
- MS男子サッカー
- MS女子バレーボール
- JV男子と女子バレーボール
- JV男子と女子テニス

大会の日時、場所、結果、その他の情報はSchoologyのKIST Athleticsのページでご確認ください。

コーチ、管理やマネジメントの方々、保護者の皆様、KIST Athleticsへのサポートに感謝いたします。
生徒たちに素晴らしい一年になることを期待しています。

Dennis Ota
Athletics Coordinator

KIST '*Learning for Life*' 大学支援奨学金

2022年度卒業生のうち、20名が大学支援奨学金を授与されました！

KISTでは、質の高い教育とは、学問的な卓越性、国際理解、道徳性、生涯学習を促進することであると定義しています。この定義に沿い、生徒が高等教育やその後の人生で成功するために必要なスキルや知識を身につけることを目標としています。KIST '*Learning for Life*' 大学支援奨学金は、努力と勤勉さによってDPの最終試験で高得点を獲得し、大学で学習を続け、最終的には広く社会に貢献することを意図し、探究心と生涯にわたって学び続ける気持ちを持ち続ける生徒に提供されます。

奨学金は以下の3種類があります。

カテゴリー	DP取得点	奨学金額
金賞	45点	200万円
銀賞	44点	100万円
銅賞	42–43点	50万円

KISTの2022年度卒業生のうち**20**名にKIST '*Learning for Life*'大学支援奨学金が授与されることが決定しました！

銅賞が**7名**、**銀賞**が**7名**、そして**金賞**が**6名**となり、これまでで最多の金賞を受賞することになりました！

2022年度KIST '*Learning for Life*' 大学支援奨学金受賞者の皆様おめでとうございます！

セカンダリー生徒ケア

Miss CowieとMr. Archerのセカンダリーケアチームは、KISTに戻る生徒とそのご家族に心からの祝福を申し上げると共に、2022/2023年に入学してきた新しい仲間を温かく迎え入れたいと思います！

私たちは生徒が学校内外での生活で困難なことがあれば、いつでもサポートできるよう、始業前、休み時間、放課後に待機しています。私たちはまたKISTのご家族のためにも存在しており、お子さんについて相談したいことがあればいつでもお気軽にお声掛けください。

新年度を迎え、新しい情報量に困惑するかもしれません。そこで、学業や社会的なプレッシャーがかかる学校生活への復帰をスムーズにするために、ご家庭でも実施できる具体例を3つご紹介したいと思います。

1 スペースが必要なことを尊重する

学校というのは、どんなに良い時でも神経を使うものです。学校が始まり、新しいスケジュール、学習内容、教師との関係、仲間との関係（こう書くだけでも圧倒されます！）に対応するのは生徒にとって精神的な負担となります。

最初の数週間は、お子さんが以前よりも自宅で内向的になったと感じるかもしれませんが、慌てる必要はありません！すべてが新しく混乱する中で平静を装うのは精神的に疲弊してしまうこともあります。学校での一日の終わりには、できるだけ人と関わらないことが自分にとって必要なことだと感じる生徒もいるかもしれません。

しかし、お子さんが特に内向的であったり、元気がないように感じて心配を感じた際には、ケアチームにお声掛け下さい。

2 早めに、そして頻繁に褒める

KIST では、生徒達は毎日驚くべきことを成し遂げています。それらをすべて日々把握することは膨大な時間を費やすことになりますが、子どもが今日何を達成したかを尋ね、それを褒めることは、祝福の雰囲気を定着させるのに役立ちます。一見小さなことでもエネルギーと努力を注いで褒められていると感じると、どうしても改善しなければならないことがあったときでも、すでにそれまでたくさん褒められていることで、それほど否定的な気持ちになりません。成功に焦点をあてたバランスになっているので、改善のチャンスはそれほど困難ではないように感じられます。親が最大のチアリーダーになることは、前向きな自尊心の基礎を築くのに役立ちます。

もし、あなたのお子さんが、学校外で何かを成し遂げたことを、私たちが知らない場合（もしかして恥ずかしさや謙遜して私たちには共有できていないのかもしれません）、是非私たちに教えてください！

3 突然の変化を受け入れる

子どもが帰って来た際に、突然聞きなれない複数の人達の名前や、新しい交友関係をきっかけに興味を持った新しい趣味について熱心に話していることに気付くかもしれません。これは全く自然なことで、KISTのような結束の固いコミュニティであっても、友情の力学や興味は頻繁に入れ替わることがあります。その変化を心配するよりも、これは思春期の中でごく自然な一部だと受け入れてみてください。新しいことに純粋に興味を持つことで、生徒たちは自分が受け入れられていると感じ、自分が成長し、良い決断をしているという考えを強化することができるのです。

もちろん、お子さんに悪影響を与えているような事柄に疑問や懸念がある場合は、我々のケアチームにご連絡ください。私たちはこのような心配事についていつでも個別に話し合うことができますし、学校の立場からの見解を示すことができるかもしれません。

今年はより多くのご家族と直接お会いし、KISTのパストラルケアのために昨年築いた土台を作り上げていくことを楽しみにしています。私たちの目標は、すべてのご家庭に協力的な環境を提供することですので、ご遠慮なくお声をかけてください。

Hannah Cowie and **Matthew Archer**
Student Care Coordinators (Secondary)

セカンダリーELS

セカンダリーELS部門2022–23年度

2022–23年度の新学年度を迎えるにあたり、セカンダリーELS部門は新しいローワーセカンダリープログラムの需要に応えるため、アカデミックライティングカリキュラムとサポート戦略の開発を進めています。これには以下が含まれます。

- G6–G8で特定された生徒を対象にしたクラス内でのサポート
- 特定された生徒に対するスキルのモニタリングと具体的なスキルターゲットの提供
- 0時間目に行われるG6–G8のアカデミックライティングのクラスの提供
- 各教科の教員と連携し、さらなる言語サポートの機会を特定する

生徒と教師との継続的な取り組みを通じて、生徒がカリキュラムをより学べるようにし、教科を超えた目標を実現できるよう支援したいと考えています。生徒や保護者の方で、英語サポートや英語教材についてご質問がある場合は、**jade.bonus@kist.ed.jp**までご連絡ください。

Jade Bonus
ELS Coordinator (Secondary)

ELS部門スタッフ紹介

Kana Furnival

ELS Instructor

2014年からKISTで働いているファーニバルと申します。以前はエレメンタリースクールで6年間ELSインストラクターとして働き、セカンダリースクールの生徒をサポートして今年で3年目になります。

私の役割は、以下の分野で生徒をサポートすることです。

- アカデミックレジスター、ボキャブラリー、エッセイ構造など、評価のためのアカデミックエッセイの構築。
- 一般的な英語の文法と文章構成

日本語を母国語とし、第二言語として英語を学ばなければならなかった者として、このことがもたらすさまざまな課題に共感し、その経験を活かして生徒の生涯の旅をサポートしていきます。

Jade Bonus

ELS Coordinator

オーストラリアのメルボルン出身で、セカンダリーの英語とメディアアートの教員免許を取得しています。教育機関に移る前は、音楽メディアを専門とする雑誌編集者をしていたので、専門的な分野での英語使用について幅広い経験を持っています。

日本での生活は9年余りになります。日本での最初の仕事は、青森県十和田市の日本の小中学校で英語を教えることで、この地域（とそのリンゴ）は常に私の心の中で特別な位置を占めています。

2015年にエレメンタリーELSインストラクターとしてKISTに加わり、G1で3年間過ごした後セカンダリーに移り、最初はELSインストラクターとして、2019年にはセカンダリーELSコーディネーターの役割を担いました。今年は、G6–G8の英語と文学のクラス担任としても生徒をサポートする予定です。

LMCニュース

読書の効果

最近、日経新聞で教育格差への取り組みに関する連載記事を読みました。その中で、子どもの教育水準に影響を与えるものとして、近隣の環境、親の教育水準などが取り上げられ、親の子どもへの時間投資とそれが子どもの教育成果を向上させるという研究結果が紹介されていました。

その中で特に印象に残ったのは、親が読み聞かせに時間を費やし、年長の子どもにも読書を勧めることが、英語や語学の分野だけでなく教育的成果全体に影響を与えるという点です。

Akiko (P1)

両親がフルタイムで働いている家庭では時間が非常に限られていますが、毎晩本を共有したり、近所の図書館に行ったり、娘と一緒に英語と日本語で本を読む等、娘がまだP1でも我が家で優先的に行っています。

読書は子どもの学習を向上させる非常に大切な方法です。KISTライブラリーは、生徒が読書にアクセスし、楽しむことができるようサポートします！

Shannon Goan
LMC Librarian

LMC利用開始時セッション

新学期の最初の週に、6年生から8年生までの生徒が、学校が提供する素晴らしいリソースを活用するための新しい取り組みであるLMCの特別な紹介レッスンを受けました。

この授業では、LMCのルール、ルーティン、期待することを再確認し、提供されている素晴らしいリソースを探索する機会を作りました。私たちは常に生徒たちに積極的で熱心な読書家となることを推奨していますが、学習ガイド、新聞、雑誌、その他の資料も提供されていることを生徒たちに伝えたいと思います！この夏、私と図書館スタッフは、生徒が興味のある本を見つけやすくするための明確なラベリングシステムを構築しました。
利用開始セッション期間中、ほとんどの生徒が新しい本を手にしてくれて、とても良いスタートを切っています！

お子さまが興味を持つ本が見つからない場合は、英語の先生や図書館のスタッフに相談するよう勧めてください。

LMCのコンテンツは常に進化しており、新しい本の貸し出しは私たちにとって大歓迎です。

Isobel Duncan
Secondary Subject Area Coordinator—English

スタッフ10!

今月のStaff 10！では、2019年11月にエレメンタリーのミュージックスペシャリストとして加わった**Niña Reyes**をご紹介します。現在、KISTでK1～Grade1の生徒に音楽を教えているほか、KIPSの子どもたちとも音楽活動をしています。

1) 出身地について面白いことを教えてください。
ケソン市は、フィリピンの第2代大統領マヌエル・L・ケソンにちなんで名づけられました。国内最大の都市であり、また、国内のエンターテインメント産業、メディア、演劇の中心地でもあるため、「スターの街」としても知られています。実際、フィリピンのストレートプレイやミュージカルを上演しているPhilippine Educational Theater Association（PETA）の劇場は、私の自宅から数ブロックのところにあるので、私がスターであるのも不思議ではありません（笑）。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？
イタリアが大好きです。音楽やおいしい料理などの豊かな文化だけでなく、ロマンチックな雰囲気が漂っているからです。特にヨベルの年に家族で訪れたときは、とてもいい思い出になりました。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。
リンゴ・スターに会って、音楽について話を聞いてみたいです。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？
利き手でない方の手でスクラッチアートができること。

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。
マラカニアン宮殿で、グロリア・マカパガル・アロヨ前フィリピン大統領とハリウッド映画監督のクエンティン・タランティーノの前で歌ったことがあります。タランティーノ氏は演奏後、私たちに「リトルレディ」と話しかけてきました。😁

6) あなたにとって一番の宝物は？
赤ちゃんの頃から使っているピアスです。兄弟で最初の女の子から譲り受けたものです（我が家は女の子5人と男の子2人の7人家族です）。母は、ダイヤモンドの花のスタッドピアスから、ぶら下がるタイプのピアスにデザインし直してくれました。

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。
私は常に自分を**リスクテイカー**だと考えています。この特性のおかげで、教育者／音楽家となり、海外で働くという目標に到達することができました。私は、自分に降りかかる困難に立ち向かい、自分にとって不快な状況に身を置くことに勇気をもっています。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？
私は無学年制のモジュール教育を受けました。そういった教育システムには利点もありますが、自分には合わないということも分かっています。もしもう一度人生をやり直すチャンスがあるなら、生徒のためにもっと手を尽くして、生徒の可能性を最大限に引き出してくれる学校を選びます。

9) 自分を高めるために今やっていることは？
音楽のレッスンを継続して受けていますが、今の目標のひとつは、もっと積極的にスポーツをすることです。

10) ファンに一言お願いします。
私たち一人ひとりがユニークで特別な存在です。自分の才能を他の人と共有することを恐れないでください。そして、決して夢をあきらめないでください。前へ前へと進み続けてください！☺

2007年にタイで開催された国際合唱コンクールで彼女のグループが最優秀賞を受賞した後、フィリピンの国旗と「Voyage of Songs」グランドチャンピオントロフィーを手にするMs. Niña。

保健便り

深呼吸の効果

長いマスク生活が続いていますが、最近深呼吸をしていますか？

緊張やストレス、恐怖などを感じたとき、私たちは深呼吸をするように言いますが何故でしょうか？また、このような状況下で深呼吸は役に立つと思いますか？

なぜ深呼吸はストレスや緊張感の緩和に大切なのか？

深呼吸により脳への酸素供給が増加し、自律神経のバランスが安定しやすくなります。自律神経は心拍数、血圧、消化、尿や汗のコントロールを司り、交感神経と副交感神経から成り立っています。

交感神経とは

『闘争と逃走』の神経と呼ばれ、ストレスや緊張時に体と精神が興奮状態（アクセルを踏む状態）にする神経です。この様な状態時には心拍数が増え、血流もアップし体がより一層酸素を必要としています。

副交感神経とは

交感神経とは逆にリラックスしブレーキのような役割の神経です。

深呼吸の効果

- ストレスの緩和：ストレスや緊張を感じているときはコルチゾールというストレスホルモンが体内に生成されやすいです。深呼吸により心拍数は下がり、酸素供給もアップされ脳からリラックスの伝達が行われる。
- 免疫力アップ：深呼吸により酸素が豊富に含まれた良質な血液が全身を駆け巡り免疫力アップにつながりやすいです。
- 痛みや筋肉の緊張を和らげる：深呼吸により痛みを和らげる作用のあるエンドルフィンと呼ばれるホルモンが生産される。
- 血圧を下げる：リラックスし血管も拡張し血圧が安定する。
- 消化を助ける：深呼吸により消化器官など各臓器への血流量もアップし働きが良くなる。
- 抑うつや不安な症状を緩和する：深呼吸によりエンドルフィンが増え、幸福感を感じやすくなる。
- 全身へのエネルギー増加
- 約70%近くの有害物質が深呼吸を通して体ほ外に排出される。
- リンパの流れをスムーズにし活性化させる。

深呼吸の方法

1. 背筋を伸ばし、肩などに力が入らない楽な姿勢をとる。例えば背もたれのある椅子を利用し肩、頭、首などサポートさせ安定させる。
2. 手のひらを腹部に当て、もう片方の手のひらを胸に添える。
3. 軽く目を閉じ、深呼吸に意識を向ける。
4. 最初はゆっくり鼻から丁寧に息を吐きだす。
5. 次にゆっくり鼻から息を吸う。その時に胸と腹部が膨らんでいくのを感じる。
6. ゆっくり鼻呼吸を続け、胸と腹部の萎みと膨らみを味わう。

Yukiko Yamazaki
School Nurse

参考資料:
Joshua A. Waxenbaum; Vamsi Reddy; Matthew Varacallo. (2021). Anatomy, Autonomic Nervous System. *National library of medicine*. Retrieved from https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK539845/

大学ガイダンスニュース

2021–22年度KIST大学ハイライト

昨年と同様に、2021–22年度卒業生へのオファーは非常に好調でした。最も印象的だったのは、過去数年で最も少ない卒業生数であったにも関わらず、各エリアで人数が増えていることです。

- トップ50の大学から合計70のオファーを受けました（QSランキング2023年）。
- KISTからIBエントリーで初めてのケンブリッジ大学（1名）、清華大学（1名）、カーネギーメロン大学（1名）、シンガポール国立大学（6名）に入学が許可された生徒がいます。
- 東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学の3大学間で17名の合格者を出し、東京の有力大学の合格者数でタイ記録を残しました。
- 出願者の94%が第1志望校に合格または入学しました。
- 今年の学生は13カ国（オーストラリア、カナダ、イギリス、香港、日本、中国本土、オランダ、ニュージーランド、スコットランド、シンガポール、韓国、台湾、米国）でオファーを受けています。
- 日本の大学への進学が最も人気がありました(10名)

今後の目標は？

第一志望に合格する生徒数を維持すること

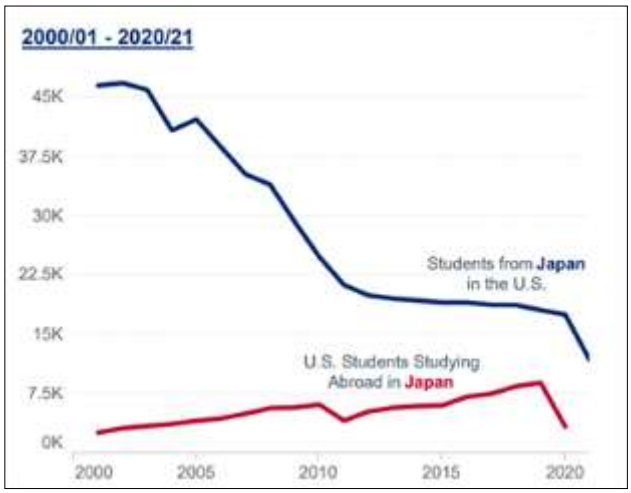
大学進学相談チームとしては、第一志望に合格した生徒の数が、2年前の75%から昨年は85%、そして今年は94%になったことを嬉しく思っています。熱心な読者の皆さんは昨年の目標が90%であったことをご記憶でしょうか。これを維持するのは難しいことですが、達成は可能です。

この数字を維持するにはどうしたらいいのでしょうか？

1. **生徒が自分自身と自分の将来について十分な情報を持っていることを確認すること**
   生徒は、自分の能力と興味に合った**複数の「第一志望校」を持つべきです**。もし、生徒が1つの学校だけで満足し、その学校が「夢」や「リーチスクール」と考えられている場合、生徒が失望する可能性が高くなります。
2. **できるだけ早く学業成績表を作成する**
   例えば、米国を第一志望とする場合、**早めにやるべきことがたくさんあります**。大学側は、G9からG11までの成績、課外活動やその中での役割、さらにSATやDuolingoなどの試験も考慮します。これらのことを直前になってから詰め込もうとしても、ストレスがたまるだけで、成功する可能性は低いでしょう。しかし、**すべてを少しずつ達成する計画を立てれば**、シンプルで実りあるものになるはずです。
3. **チームワーク**
   成績優秀な生徒が志望校に合格できるのは、**友人や家族、先生のサポートがあるからです**。私たちの役割は、**ストレスを与えることなく、モチベーションを与えること**です。限界まで追い詰められた生徒が、満足のいく結果を出すことは非常に稀です。しかし、私たちは常に共通の目標に向かって努力し、自己満足に陥らないようにする必要があるのです。

米国トップ大学への合格率向上（問題点）

まだまだ改善を望む声が多いのが、米国のトップ大学への合格実績です。米国では、2000年代初頭をピークに、日本からの出願者が減少しています。この背景には、最近でこそパンデミックなどの議論がありますが、一般的には以下のような理由があると考えられています。



- **学費の負担増**
  日本では、インフレ率が低いため物価が安定しており、多くの家庭の給料もこの20年間あまり変わっていません。しかし、アメリカでは学費が高騰しています。米国の公立大学の留学生の年間平均授業料は、2002年には10,409ドルだったのが、現在は28,238ドルになっています。私立大学の場合は、同じ期間に17,938ドルから43,775ドルに跳ね上がっています。
- **競争の激化**
  少し前までは「競争率が高い」とされていた大学も、世界各国からの出願が増えたため、今では「独占的」とされています。その一例が、ジョージア州のエモリー大学です。長年隠れた名門で、2005年には12,011人の出願に対して4,407人が合格し、合格率～37%ということで、海外のトップ学生が目標として検討するのに適した大学でした。現在に至っては、2021年の出願期間中の入試では、33,435人の出願があり、以前と同じくらいの人数の4,364人が合格しています。現在、同校の合格率は13%前後で、多くの人にとってのリーチスクールと言われています。海外からの出願の場合、ほとんどの席が米国居住者のために確保されているため、その率は10%を下回ります。**この傾向は、ほぼすべてのトップスクールで見られ、過去20年間に出願数が2倍、3倍になる一方で、新入生の席数は変わっていません。**

次のページに続く

前ページの続き

- **期待値の向上**
  競争の激化は、年間数百人の留学生しか受け入れないトップ校が、出願書類を審査する際に非常に厳しくなることを意味します。彼らが審査するポイントはたくさんありますが（これらは*The Comet* 2021年9月号で詳しく紹介してます）、願書を審査する際に最初に検討されるのは「GPA」です。

米国トップ大学への合格率アップ（解決策）

- **全体のGPAを上げる**
  KISTでは、出願のほぼすべての面において準備の計画がかなり徹底されてきました。SATの準備はGrade9のPSATから、Personal Statementは必要以上に半年前から取り組み、IB校としては世界でもトップクラスです。しかし、歴史的に見てもGPAはそれほど強くなかったというのが現状です。
- **GPAとは何ですか？**
  GPAはGrade Point Averageの略です。アメリカの中等教育機関では、A～Fの平均的なレターグレードを数値に換算しています（一般的には4.0満点で、Aは4.0、Bは3.0といった具合になります）。学期ごとに計算されますが、生徒のG9-12の平均値も出力されます。そのため、上記のエモリーのような学校が最近の1年間の平均GPAを3.81と表示している場合、その学校が受け入れている学生の成績は、ほとんどが「A」で、「B」はほんの少し、「C」はおそらくほとんど、あるいはまったくないと推測されます。
- **KISTはGPAを使うのですか？**
  IBワールドスクールとして、公式にGPAシステムはありませんが、G10以降生徒がどのような学校に出願できるかをよりよく理解できるように、Cialfoに推定GPAを入力し始める予定です。
- **今、私たちにできることは？**
  G9が始まる前から、ベストを尽くす習慣をつけることです。各大学はIBのスコアをGPAに換算する際、若干の差異があります。しかし、一貫しているのは、G9から成績を見るということです。毎学期、各クラスで「7」に近い点数を取ることで、将来の柔軟性や選択肢を増やすことができます。この習慣は一朝一夕に身につくものではありません。ですから、G8、G7などの間に、学問的成功のための準備をすることが非常に肝心です。

米国トップ大学への合格者数増加（なぜ重要なのか？）

- **財政と奨学金**
  トップ大学はランキングや成功を維持するために優秀な学生を欲しているため、彼らを惹きつけるために手厚いパッケージを提供することを望んでいます。2022年度の卒業生のうち4人は、それぞれの大学で授業料全額免除の奨学金をもらっています。私はこの数を増やし、家庭の経済的負担を軽減しながら他ではありえないような選択肢を広げたいと考えています。
- **学校の評判・卒業生とのつながり**
  世界中のさまざまな大学に学生がいればいるほど後輩たちのネットワークが広がり、彼らがもっと知りたいと思うような質問や好奇心に手を差し伸べることができるコネクションが生まれるので、より大きな助けとなります。

上記について、また他に何か質問や疑問があれば、いつでも私に連絡するかオフィスにお立ち寄りください！

Thomas Waterfall
University Counselor
thomas.waterfall@kist.ed.jp
Office hours: Monday–Friday, 8:30 a.m.–5:30 p.m.
University Guidance Office (3F Secondary Building)

卒業生大学合格実績

KIST 2022年度卒業生

( )=合格生徒数 | [«]=奨学金付き合格 | [#]=進学または進学予定確認済み
斜体で表示されているオファーは過去に卒業したクラスの学生です
2022年9月1日現在（まだ出願中です！）

オーストラリア

Monash University (1)*
University of Melbourne (1)*
University of Sydney (1)*

カナダ

Simon Fraser University (1) [#1]
University of Alberta (1)
University of Calgary (1)
University of British Columbia (8) [#1]*
University of Toronto (5) [#1]*
University of Victoria (1) [#1]*

大中華圏

Hong Kong Uni of Science and Tech (5) [#2]*
National Taiwan University (1)*
The Hong Kong Polytechnic University (1)*
The University of Hong Kong (3) [#2]*
Tsinghua University (1)

日本

International Christian University (1)
Keio University (5) [#3]
Kyushu University (1)
Nagoya University (1)
Nagoya Uni of Commerce and Business (1)*
Nippon Sport Science University (1) [#1]
Sophia University (4)
Temple University Japan Campus (3) [#3]
Tokyo Medical and Dental University (1) [#1]
The University of Tokyo (3) [#1]*
University of Tsukuba (1)
Waseda University (9) [#3]

オランダ

Delft University of Technology (1)
Eindhoven University of Technology (1) [#1]

ニュージーランド

Auckland University of Technology (1)

シンガポール

Nanyang Technological Institute (3)*
National University of Singapore (6) [#3]*
Singapore Management University (1) [#1]*

韓国

Sungkyunkwan University (1) [#1]
Yonsei University (1)

イギリス

City University of London (1)
Imperial College London (3)*
King's College London (4)
Leeds Arts University (1) [#1]
Ravensbourne University (1)
The University of Edinburgh (8)
University College London (6) [#2]
University of Bath (6) [#1]*
University of Bristol (4)
University of Cambridge (1)
University of Essex (1)
University of Exeter (1)
University of Glasgow (2)*
University of Leeds (1)
University of Liverpool (1)
University of Manchester (9)
University of Manchester (1) [#1]
University of Nottingham (1)
University of Nottingham (Medicine) (1) [#1]
University of Sheffield (1)
University of Southampton (1)
University of St. Andrews (1)
University of Warwick (3)

アメリカ合衆国

Bard College (1)
Boston University (3)*
Carnegie Mellon University (1) [#1]*
Denison University (1)*
Drexel University (1)*
Georgia Institute of Technology (1)*
Illinois Institute of Technology (1)*
Knox College (1)*
Lawrence University (1)*
Miami University, Oxford (1)*
Michigan State University (1)*
North Carolina State University (1)
Northeastern University (2) [#1]*
Purdue University (4) [#1]*
The Ohio State University (1)
University of California – Davis (3)
University of California – Irvine (1)*
University of California – Los Angeles (1)*
University of California – San Diego (4) [#1]*
University of California – Santa Cruz (1)
University of Denver (1)
University of Illinois – Urbana Champaign (2)
University of Michigan (2) [#1]
University of Minnesota Twin Cities (3)*
University of North Carolina at Chapel Hill (1)
University of San Francisco (1)
University of Texas at Dallas (1)